

2018年 4月10日

各位

ご案内

第37回JAFIC 漁業情報研究会

**我が国水産業における食文化ならびに
流通・消費情報の重要性を語る**

時下、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

常日頃より、当センターの活動に対しまして暖かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。このほど別紙の通り第37回JAFIC 漁業情報研究会を企画しました。ここに謹んでご案内申し上げます。

一般社団法人 漁業情報サービスセンター
情報企画部

担当：谷津明彦（やっ・あきひこ）

Tel:03-5547-6886

Fax:03-5547-6881

E-mail: yatsu@jafic.or.jp

（送信時には◎を@に変えてください）

第37回JAFIC 漁業情報研究会
我が国水産業における食文化ならびに
流通・消費情報の重要性を語る

主催：漁業情報サービスセンター

と き：2018年4月27日（金）14:00～17:00

と ころ：豊海センタービル 2F 会議室（東京都中央区豊海町5番1号）

プログラム

- 主催者挨拶：川口恭一（JAFIC 会長） 14:00-14:10
- 趣旨説明：細窪 迅（JAFIC 生産流通部副部長） 14:10-14:20

■講演

1. 食文化に果たす水産業の役割と将来展望—サカナ場放浪記—
鷺尾圭司（水産研究・教育機構理事 水産大学校代表） 14:20-15:20
（休憩）
2. JAFIC 流通・消費情報の過去・現在・未来—田舎者一代記—
石井 元（（一財）東京水産振興会（豊海おさかなミュージアム担当）特別研究員，
前 JAFIC 参事） 15:30-16:30
3. 総合討論 16:30-16:55

- 閉会挨拶：淀江哲也（JAFIC 専務理事） 16:55-17:00
- 懇親会 会場：サービスセンター会議室（懇親会費 2,000 円）

開催趣旨 水産業は、生産・加工・流通を通じた国民への食料提供のみならず、漁村の有する多面的機能を含め、裾野の広い産業である。また、流通・消費情報は、漁海況情報の提供と共に JAFIC の屋台骨である。一方、外国での水産業の成長ぶりに比してみると、我が国水産業は漁業者の減少や魚離れに代表されるように衰退傾向にある。しかし、わが国周辺には和食文化に大いに貢献できる多種多様な水産資源が分布し、その資源管理も近年強化されつつある。また、高級水産物や委託加工を主体に輸入も多く、水産物への消費者ニーズは変化しつつも依然として強いと考えられる。そこで、今回は、イカナゴの釘煮や恵方巻の普及によるノリの消費拡大などヒットを飛ばしてきた鷺尾水産大学校代表ならびに JAFIC 在勤中 44 年余りにわたってこの分野で活躍されてきた石井前参事に話題提供を頂き、流通・消費情報における JAFIC の役割を含め、我が国水産業の再興に向けた問題点や展望について議論したい。

- 事前にメールまたはファックスで参加申込ください（先着 80 名様）
- 申込先：JAFIC（谷津明彦）E-mail: sanka@jafic.or.jp Tel:03-5547-6886 Fax:03-5547-6881

漁業情報サービスセンター宛（担当：谷津明彦）

Fax 03-5547-6881

下記のとおり第37回 JAFIC 研究会（4月27日）に参加申込します

研究会・懇親会参加の○×をご記入下さい。

氏名	所属（団体名・会社名など）	研究会	懇親会 (2,000円)

★研究会の会場は JAFIC ではなく、豊海センタービル（バス停のすぐ前のビル）です。

その他連絡事項（もしあれば）：